

○令和5年度 国立大雪青少年交流の家体験活動普及啓発事業

「たびうさぎファミリー～絵本編～」(R5.6.3(土)・4(日))



◆目的

<絵本編>

家族が外遊びの楽しさと意義を体感するとともに、家族の交流の機会とします。

◆参加実績 (定員各回 15 家族 50 名程度)

6.3(土) 10 家族 38 名

6.4(日) 5 家族 18 名

◆プログラム

<絵本編>

【親子別プログラム (60 分)】

- ・雨天のため、体育館での実施となったが 36 の動きに沿った遊びの場を提供し、遊びながら体を動かす場を設けた。
- ・保護者に向けて体験活動の意義や効果、絵本専門士による絵本の選書の方法などを学ぶ機会を設けた。

【絵本の世界を実際に体験してみよう (120 分)】

- ・絵本専門士による絵本の読み聞かせを行い、絵本に出てきた内容に沿って実際に体験できるプログラムを実施した。
- ・6/3(土)は、絵本の中に登場したおやつを実際に再現し、家族でおやつ作りに挑戦した。
- ・6/4(日)は、ピクニックを題材とした絵本の読み聞かせ後、大雪の森の中へピクニックに行き、音や色・においなどを探すネイチャービンゴを通じて、五感を使って楽しみながら自然を感じる内容とした。



◆事業運営・企画のポイント

- ・絵本の読み聞かせを絵本専門士に依頼し、絵本の物語を実体験できるよう外遊びや自然体験などを盛り込み、体験活動の楽しさなどを実感できるよう企画した。
- ・各家族のペースでゆっくり親と子が遊べる場を提供し、家族内の交流を深める機会とした。

◆参加者の声

<絵本編>

□家族と濃厚な時間を過ごすことができた。

□雨の中を歩く体験は家族だけではできないので、ある意味非日常の体験でした。

□家の周りとは違う自然の中で枝や葉っぱ、雨や水たまりなど体で自然を感じられたと思う。

□なかなか家族みんなで料理をしたり、1日中遊ぶことがないので貴重な1日になりました。

□絵本の良さをあらためて感じました。

□普段外遊びや体を動かす遊びよりも室内でおままごとや絵本・テレビを見るのが好きな娘ですが、積極的に体を動かす遊びを次々に行っており驚きました。

◆事業の成果

- ①両日ともに雨天のため、満足に外遊びをすることはできなかったが36の動きなどを活かした室内での遊び等で代替えることで体を動かすことを楽しむことができた。
- ②保護者向けに外遊びを中心とした体験活動の意義や効果を説明することで、体験活動の普及啓発に取り組むことができた。
- ③全体のプログラムを通じて、家族内の交流を深める機会を提供することができた。